**真鍋庭園でできること**

**生きとし生けるものの実験場を探索する**

真鍋庭園は、日本庭園、西洋庭園、自然の庭園の実例を紹介する植物の生きた実験室兼ショールームです。これらのさまざまな緑に囲まれた環境は、気儘に探索を楽しめるように作庭され、植物を育てる、または単に愛する人にとって特別な魅力があります。

針葉樹の背景

ハイライトのひとつは、日本で最初で最大の針葉樹ガーデンで、ここには何百もの針葉樹、特にトウヒ類があります。その多くは北アメリカのより寒い地域からのもので、北海道で育つには十分な耐寒性を持ちます。これらの常緑樹は、他のすべての季節ごとに咲き乱れる植物が一年中色とりどりに咲き乱れる中、高くそびえる緑豊かなキャンバスを形成します。

鯉、モンスター、そしてバラ

日本庭園で中心的なのは、錦鯉が多く放たれている池です。訪問者は、錦鯉に餌を与えることが出来、池に錦鯉が作り出す万華鏡を楽しむことができます。夜だったら不気味に思うに違いない、ねじれた木々のコレクションはモンスターガーデンで最も注目をひくものです。ハマナスの丘では選ばれた種の香りのコレクションを感じられます。8メートルの滝とニジマスの池もあり、魚の写真が撮るのに十分なほど水は澄んでいます。北海道エゾリスは、林床庭園に設置された専用の遊び場で戯れています。

植物を体感する

真鍋庭園の主要目的は、見本園で、進行中の植物実験で様々な樹木、花卉類、ボーダープラント類、草類を展示しています。この庭は日本植木協会の認定を受けた北海道唯一の見本園です。多くの造園設計家、建築家、ガーデナーが、造園築庭戦略を観察、調査、計画するために訪れます。

ガーデナーたちはここで植物、種子、園芸用品、園芸道具を購入します。植物の多くは幅広く海外、日本国内から取り寄せた品種であり、北海道のみならず、日本国内で見つけるのが困難なものもあります。

雨の日には

真鍋庭園では、雨の日には無料の傘と長靴を用意しています。靴が露に濡れないように、早朝にも長靴の着用がお勧めです。長靴をはけば、傘そしてたくさんの木々が天然の雨除けとなって、雨の中の訪問も楽しく感じられます。

庭園のカフェでは、コーヒーや紅茶のほか、自家製ケーキやその他の料理を提供しています。屋内と屋外の両方で食事をする場所があります。また、個人でピクニックを楽しむことができるピクニックエリアも庭園内のあちこちに用意されています。

アクセス

真鍋庭園は、アクセスのし易さを大事なテーマとしています。庭園内のほとんどの場所は車椅子でアクセス可能で、手動の車いすをゲストに無料で貸し出しています。メインの道には段差がなく、なだらかなスロープになっています。この道は庭全体を通してさまざまな地形を横断するので、大変良く出来ています。小さな丘や、小川や滝、高台の展望台、デコボコした森も通れます。

真鍋庭園は帯広バス停の近くにあります。読書したり、カフェでランチやコーヒーを楽しんだり、おしゃべりしたりするために多くの地元の人々も立ち寄ります。可能であれば、地元の人々との交流を図るのも楽しいでしょう。

真鍋庭園について、さらに詳しい情報を得るには、こちらのリンク[概要ページへのリンク]をクリックして下さい。